

コパキソン[®]皮下注20mgシリンジ

自己注射

ガイドブック

監修 湘南慶育病院 院長
慶應義塾大学 名誉教授 鈴木 則宏 先生
慶應義塾大学医学部 神経内科 教授 中原 仁 先生

この冊子はコパキソン皮下注20mgシリンジの
自己注射の方法を説明する際の参考として、
医療関係者から患者さんにお渡しください。

目次

はじめに	2
コパキソンについて	2
コパキソンを注射するにあたって	3
コパキソンおよびオートジェクト2の注意事項	4
準備するもの	5
オートジェクト2外觀図	6
自己注射の手順	7
自己注射の準備をする	9
注射部位について	18
コパキソンを注射する	19
後片付けをする	23
注射に関するQ&A	25

はじめに

この冊子は、多発性硬化症と診断され、コパキソンを処方された患者さんが、ご自身でコパキソンを注射する際に参考としていただくものです。

今回の自己注射開始にあたって、すでに主治医の先生や看護師さんから、指導を受けられていることと思いますが、ご自宅でご自身あるいはご家族の方に注射してもらう場合には、このマニュアルを繰り返し読んで、正しい注射方法を確認するようにしてください。

何かわからないことがありましたら、主治医の先生や看護師さんに相談してください。

コパキソンについて

コパキソンは、多発性硬化症における再発予防のためのお薬です。多発性硬化症は、身体を守るはずの免疫機能に何らかの異常をきたし、自分自身を攻撃することで症状があらわれる疾患ですが、コパキソンは、この免疫機能を調節し、多発性硬化症の再発を抑制すると考えられています。

コパキソンは、専用の注入補助器を用い、1日1回皮下注射によって投与します。

コパキソンを注射するにあたって

コパキソンを注射した後に、注射直後反応、過敏性反応、注射部位反応とよばれる症状があらわれる場合があります。以下の内容をご確認いただき、気になる症状があらわれた場合は、主治医の先生に相談してください。

注射直後反応

コパキソンを注射した後、数分以内に、**胸部または顔面の紅潮(血管拡張)、胸痛や胸部の不快感、短時間の息苦しさ(呼吸困難)、動悸または頻脈**などの症状があらわれる場合があります。これらの症状は軽度・一過性で、自然に消失する場合がありますが、**重度な場合や軽度であっても症状が続く場合は、過敏性反応のおそれがあることから、ただちに主治医の先生に連絡してください。主治医の先生に連絡がつかない場合は、救急外来を受診してください。**また、注射のたびに症状があらわれる場合も主治医の先生に相談してください。

過敏性反応

コパキソンの注射に伴い、**のどのかゆみ、持続する息苦しさ(呼吸困難)、発疹やじんましん、けいれん、失神**などの症状があらわれる場合があります。**これらの症状があらわれた場合は、次回以降の注射を中止し、主治医の先生に連絡してください。主治医の先生に連絡がつかない場合には、救急外来を受診してください。**

注射部位反応

コパキソンの注射に伴い、**注射部位が赤くなったり、痛みが生じたり、かゆくなる、はれる、しこりができる**などの症状があらわれる場合があります。このような症状を減らすためには、**正しい注射方法を身につけることが大切です。毎回、注射部位を変え、注射後はもんだり、こすったりしないようにしましょう。痛みの緩和のためにシリンジは十分に室温に戻して注射します。注射の深さを浅くすれば、痛みが緩和される場合もありますので、主治医の先生に相談してください。**

患者手帳の“注射の記録”のページを使って、注射した部位を記録しましょう。

ここに書かれている症状以外でも、気になることやわからないことがあれば、主治医の先生や看護師さんに連絡してください。

コパキソンおよびオートジェクト2の注意事項

コパキシンの注意事項

- 専用のプレフィルドシリンジ用注入補助器(オートジェクト2)を用いて行ってください。
- シリンジを注射部位以外の箇所や他人に向けないでください。
- 凍結を避け、外箱に入れて、冷蔵庫で保存してください。
- 開封後も光を遮り、保存してください。
- 溶液中に異物が認められた場合は使用しないでください。
- 注射針およびシリンジは再利用しないでください。
- 使用期限の過ぎた薬剤は使用しないでください。
- 小児等の手の届かない場所に保管してください。

オートジェクト2の注意事項

コパキソンを皮下注射するにあたっては、オートジェクト2という専用の注入補助器を用います。

- コパキソン投与以外の目的に使用しないでください。
- コパキソン皮下注20mgシリンジ(容量1.0mL・注射針29ゲージ1/2インチ)のみに使用できます。
- 他人と共用しないでください。
- 分解や改造をしないでください。
- シリンジをセットした状態で、注射部位以外の箇所や他人に向けないでください。
- 小児等の手の届かない場所に保管してください。
- 清潔に保管してください。
- 水につけたり、水をかけたりしないでください。

準備するもの

自己注射の際には以下のものが必要になります。

コパキソン皮下注20mgシリンジ

室温に戻してから注射します。



オートジェクト2

コパキソンを注入するための補助器です。



消毒用アルコール綿

注射部位を消毒します。



*こちらは一例です。

ばんそうこう

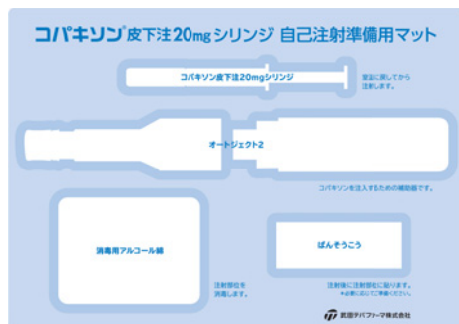
注射後に注射部位に貼ります。



*必要に応じてご準備ください。

コパキソン皮下注20mgシリンジ 自己注射準備用マット

自己注射に必要なものを配置するマットです。



廃棄ボックス

使用済みのシリンジ、ニードルキャップを
廃棄します。



オートジェクト2外観図

コパキソンの投与は、オートジェクト2とよばれる専用の注入補助器を用いて行います。



デプスアジャスター
(注射針の刺入深度を調節します)

シリンジハウジング
(ここにシリンジをセットします)

キャップリムーバー
(注射針のキャップを外します)

プランジャー
(バネの力により
注射液を注入します)

インジェクタ
(注射液を投与するための
注入装置です)

インジェクタウィンドウ
(注入が完了したかどうかを
示します)

ボディカバー
(スライドすると、ロックが外れ、
ファイアリングボタンが押せる
ようになります)

**ファイアリング
ボタン**
(押すと、注射液が
注入されます)



自己注射の手順

自己注射は次のような流れで行います。各ステップの詳細はp.9より記載されています。

自己注射の準備をする



シリンジ1本をブリスター（包装）ごと取り出し、室温に戻す（目安20分）



手を洗う



必要なものを準備する



オートジェクト2のキャップリムーバーが取り付けられていることを確認する

コパキソンを注射する



キャップリムーバーを引き抜き、ニードルキャップを外す



注射部位を消毒する



注射部位にオートジェクト2の先端を押し当てる



注射する（ファイアリングボタンを押す）

P.9-18



オートジェクト2のデプスアジャスターを調節する



オートジェクト2のプランジャーをシリンジハウジングを使ってロックする



シリンジハウジングにシリンジを装着する



シリンジハウジングとインジェクタを回して締める

P.19-22

後片付けをする P.23-24



必要に応じて注射部位にばんそうこうを貼る



インジェクタからシリンジハウジングを取り外す



シリンジを取り出し、専用の廃棄ボックスに入れる

自己注射の準備をする

箱から一回分のシリンジをブリスターごと取り出し、室温に戻すためそのまま20分程度放置します。使わないシリンジは速やかに冷蔵庫に戻します。



シリンジを取り出した際に、注射液の量や異物の有無を確認します。量が少なかったり、異物が認められるようであれば、そのシリンジは使用しないでください。

せっけんで両手をよく洗います。



手を洗う際は、指と指の間や爪などもていねいに洗いましょう。

自己注射の準備をする

手を洗い終わったら、自己注射の準備をはじめます。

室温に戻したシリンジをブリスターから取り出し、準備用マットの上に置きます。また、専用のポーチからオートジェクト2を取り出し、同様に準備用マットの上に置きます。そのほか、注射部位を消毒するための消毒用アルコール綿、必要に応じて注射後に貼るばんそうこうも準備用マットの上に置きましょう。

また使用済みのシリンジを捨てる廃棄ボックスも忘れずに用意しましょう。



*こちらは一例です。



この段階で、ニードルキャップを外さないでください。

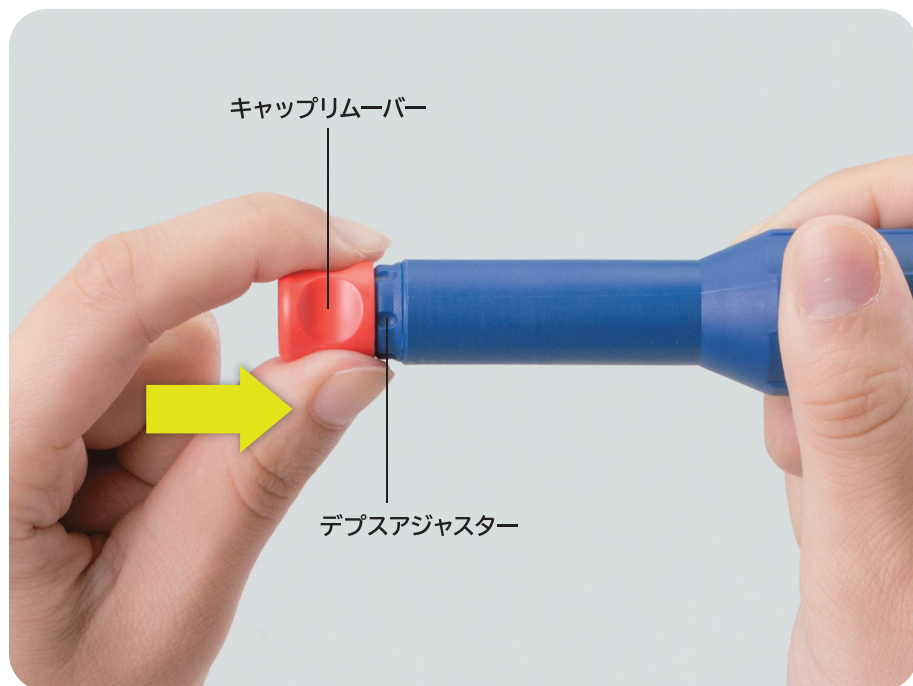
ニードルキャップ



シリンジ

プランジャー

オートジェクト2のキャップリムーバーがデプスアジャスターにしっかりと取り付けられていることを確認します。



自己注射の準備をする

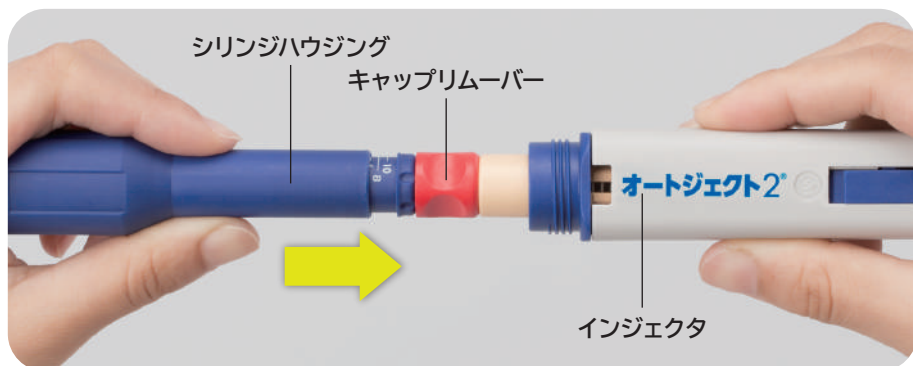
キャップリムーバーでデプスアジャスターを回転させ、シリンジハウジングの端に印字してある適切な刺入深度の目盛に合わせます。



適切な刺入深度については、主治医の先生にご相談ください。

デプスアジャスターの目盛は、忘れずに「コパキソン患者手帳」に記録しましょう。

シリンジハウジングのキャップリムーバーをインジェクタのプランジャーへまっすぐに当てます。カチッという音が聞こえるまでシリンジハウジングで完全にプランジャーを押し込み、プランジャーをロックした後、シリンジハウジングを取り外します。



プランジャーが押し込めなかったり、カチッという音が聞こえない場合は、そのオートジェット2を使用せず、かかりつけの医療機関にご相談ください。



この操作の際にはファイアリングボタンには触れないようにしてください(押し込めない可能性があります)。

自己注射の準備をする

平らな面に、キャップリムーバーが付いたシリンジハウジングを置き、シリンジハウジングの中へ、ニードルキャップを付けたまま、シリンジを針先から挿入します。シリンジがカチッとハマる感じがするまで、シリンジハウジングの中へしっかりと押し込みます。



！ 決して、この段階で、ニードルキャップを外さないでください。

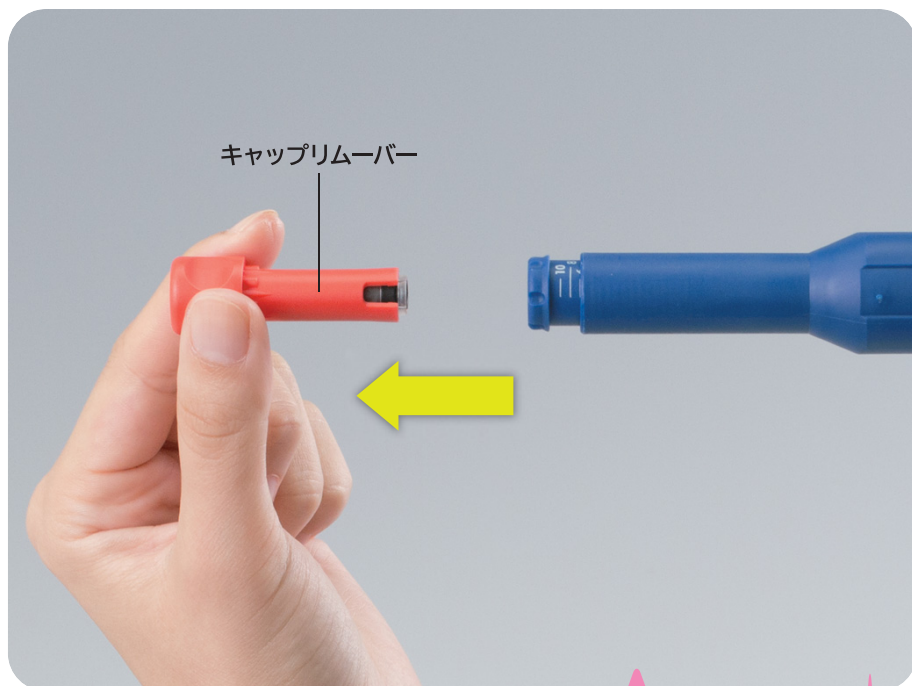


シリンジハウジングとインジェクタを回して締めます。



自己注射の準備をする

キャップリムーバーをまっすぐ引き抜くと、キャップリムーバーと一緒にニードルキャップが、シリンジから外れます。



取り除いたニードルキャップは廃棄ボックスに廃棄します。



赤いキャップリムーバーは廃棄しないでください。

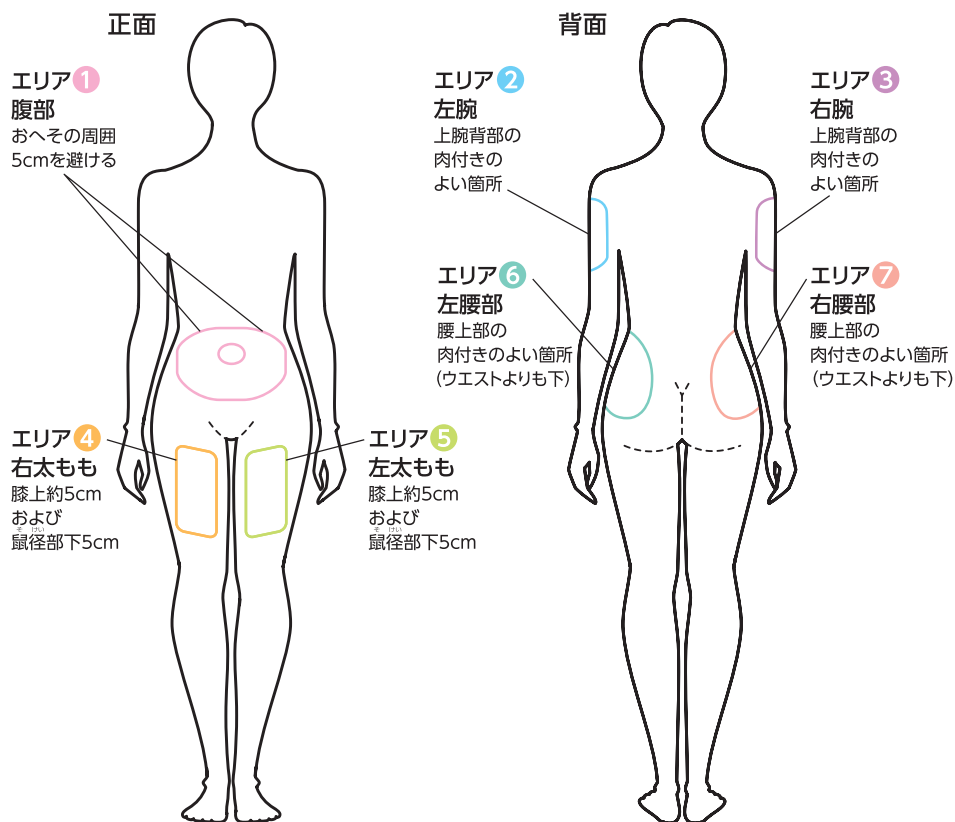
※キャップリムーバーを取り外した後に薬液のしずくがみられることがありますが、問題ありません。

注射部位について

毎日、注射する部位を変更しましょう

注射部位が赤くなったり、痛みが生じたり、かゆくなる、はれる、しこりができるなどの症状を減らすためには、毎日、注射する部位を変更する必要があります。注射部位のエリア(1～7)を毎日変えながら注射するようにしましょう。患者さんご自身で注射ができない部位は、指導を受けたご家族が注射することも可能です。

注射部位マップ



※ 鼠径部:太もものつけ根の部分

コパキソンを注射する

消毒用アルコール綿等で注射部位を消毒し、よく乾かします。



インジケータウィンドウが見える向きで、皮膚に対して垂直にオートジェクト2の先端部(デプスアジャスター)を当てます。軽く力を加えるとボディカバーがシリンジハウジングに向かって動きます。



コパキソンを注射する

インジケータウィンドウを確認しながら、ファイアリングボタンを軽く押し、注入を開始します。注入が完了するまで、オートジェクト2を皮膚に押し当てたまま接触させておきます。
10秒ほど経ってインジケータウィンドウのレッドマークが表示されたら、注入完了です。



注射液の液漏れを防ぐため、レッドマークがあらわれてから、オートジェクト2を離します。



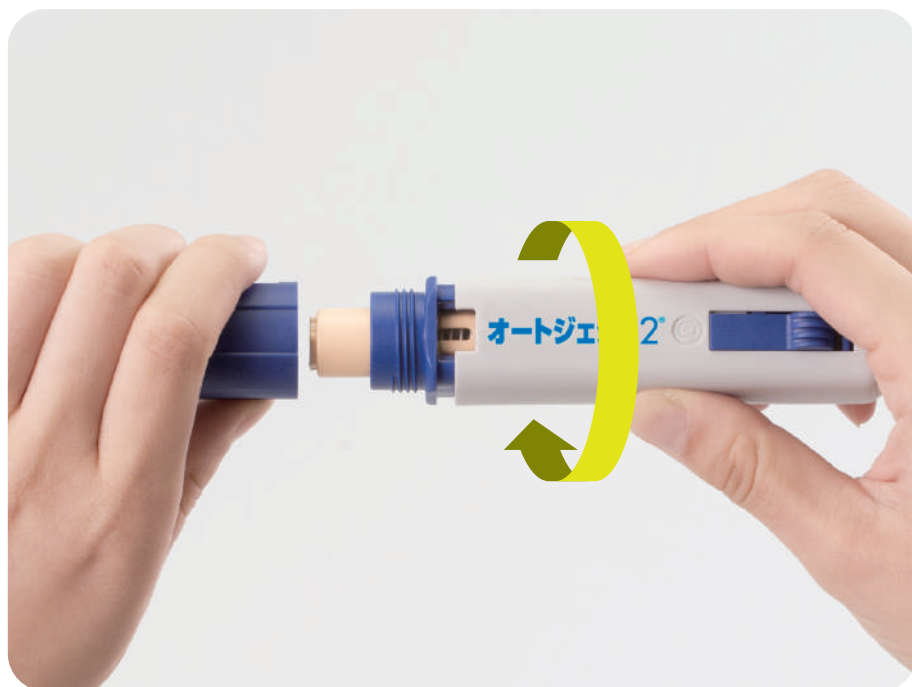
オートジェクト2を皮膚から離し、必要に応じて注射部位にばんそうこうを貼ります。注射部位はもんだり、こすらないようにしましょう。



針先がシリンジハウジングから飛び出した状態ですので、皮膚から離してからは、オートジェクト2の扱いに注意してください。

後片付けをする

注入し終わった後、インジェクタを回しシリンジハウジングを取り外します。



注入し終わった後は、針先がシリンジハウジングから飛び出した状態ですので、取扱いには十分に注意してください。

シリンジハウジングから、使用したシリンジを引き抜き、専用の廃棄ボックスに廃棄します。



！ シリンジを捨てる際、外したニードルキャップを再び装着しないようにしてください。

！ ニードルキャップを廃棄してください。

！ 使用したシリンジは再利用しないでください。

！ 廃棄ボックスは、お子さまの手の届かない場所に保管し、いっぱいになったら、次回受診時に、かかりつけの医療機関にお持ちください。

シリンジを廃棄した後、オートJECT2をきれいな布で軽くふき取り、ポーチにしまいます。

後片付けが終了したら、注射した部位は、忘れずに「コバキソン患者手帳」に記録しましょう。

注射に関するQ&A

Q

注射を打つのを忘れた場合はどうすればいいですか？

A

気づいた時点で速やかに注射してください。ただし、2回分を1度にまとめて注射しないでください。

Q

旅行の際にコパキソンを持ち運ぶためにはどうすればよいですか？

A

コパキソンは、2～8℃で保存する必要があるため、持ち運ぶ際には保冷バッグが必要です。

Q

オートジェクト2に使用期限はありますか？

A

オートジェクト2の使用期限は3年または1,000回と定められています。期限が近くなったら、かかりつけの医療機関にご相談ください。オートジェクト2の使用開始日を忘れないように、自己注射ガイドブック巻末の使用開始日記入欄に記録しておきましょう。

Q

注射直後反応とはなんですか？

A

コパキソンを注射した後、数分以内にあらわれる可能性がある胸部または顔面の紅潮（血管拡張）、胸痛や胸部の不快感、短時間の息苦しさ（呼吸困難）、動悸または頻脈などの症状のことです。詳細はp.3をご覧ください。

Q

過敏性反応とはなんですか？

A

コパキシンの注射に伴い、あらわれる可能性がある、のどのかゆみ、持続する息苦しさ（呼吸困難）、発疹やじんましん、けいれん、失神などの症状のことです。詳細はp.3をご覧ください。

Q

注射部位反応とはなんですか？

A

コパキシンの注射に伴いあらわれる可能性がある注射部位の赤み、痛み、かゆみ、はれ、しこりなどの症状のことです。詳細はp.3をご覧ください。

気になることやわからないことがあれば、主治医の先生や看護師さんに相談してください。

Memo

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

オートジェクト2 使用開始日 記入欄	年	月	日
-----------------------	---	---	---

医療機関名

電話番号



武田テバファーマ株式会社